

第48回JODA世界選手権大会
第20回JODAアジア選手権大会、第27回JODAヨーロッパ選手権大会
2009年JODA北アメリカ選手権大会
2009年JODAナショナルチーム 最終選考会

帆走指示書 (Sailing Instructions) 20090220

この帆走指示書では以下の略称を使用する

- ・ JODA:日本オプティミスト・デインギー協会
- ・ RC :レース委員会
- ・ RRS :セーリング競技規則 2009 - 2012年版
- ・ NOR :レース公示
- ・ SI :帆走指示書

1.適用規則

- 1.1 本大会は、RRSに定義された「規則」を適用する。但し、このSIで変更された部分を除く。
- 1.2 NORとSIが矛盾する場合はSIを優先する。

2.上告の制限

本大会は海外派遣の申込期限の関係で、成績確定を早急にする必要上、RRS 70.5(a)を適用し、プロテスト委員会の裁決を最終として上告の権利は認められない。

3.選手への通告

選手への通告は江の島ヨットハウス3階の陸上本部に設置する公式掲示板に掲示される。

4.帆走指示書の変更

SIの変更は、それが発効する当日の8:00までに掲示する。但し、レース日程の変更については発効する前日の18:00までに掲示する。

5.陸上で発せられる信号

- 5.1 陸上で発せられる信号は江の島ヨットハウス2階テラスに設置されたフラッグポールに掲揚される。
- 5.2 音響1声と共に掲揚される『D』旗は「最初の予告信号は『D』旗掲揚の30分以降に発せられる。」ことを意味する。「艇は、この信号が発せられるまでハーバーを離れないことを求められる」を意味する。
- 5.3 『D』旗が掲揚されない場合には、その日のレース又は次のレースのスタート時刻は延期されていることを意味する。

6.海上で発せられる信号

スターティング・ライン又はフィニッシング・ラインに位置するRC艇、またはその他のRC艇に『N/H』旗、『N/A』旗、『AP/H』旗、『AP/A』旗が掲揚された時は、RRS信号に定められたそれぞれの意味に加え、「全艇直ちに帰港し、帰着申告を下さい」を含むものとする。

7.レースの日程

7.1 ---以下公式日程---

3月20日(金・祭日)	7:30 ~	大会受付(クラブハウス内)及び計測
	11:00 ~	開会式及びスキッパーズミーティング
	12:55	最初のレース予告信号
3月21日(土)	8:55	最初のレース予告信号
3月22日(日)	8:55	最初のレース予告信号
3月23日(月)	8:55	最初のレース予告信号
	時刻未定	閉会式、成績発表、ナショナルチーム参加の意思表示 (閉会式の開始時刻は、最終レース終了後、公式掲示板に掲示する)

- 7.2 本大会は 12レースを予定する。
- 7.3 1日に行われるレースは5レースを超えてレースを行うことはない。
- 7.4 最終日のレースの予告信号は13:00を超えて発せられることはない。

8.クラス旗

クラス旗は『O』旗とする。

9.レース・エリア

添付1図に、レース・エリアの位置を示す。

10. コース

- 10.1 添付2図に、レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序およびそれぞれのマークを通過する側を含むコースを示す。
- 10.2 予告信号以前に、スターティング・ラインのスターボード・エンドに位置するRC艇に最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

11. マーク

- 11.1 マーク 1、2および3は黄色ブイとする。
- 11.2 スターティング・マークはスターティング・ラインの両端のRC艇とする。
- 11.3 フィニッシング・マークはスターボード・エンドのRC艇とポート・エンドのRC艇とする。
- 11.3 SI13に規定するコース変更の信号を発しているRC艇はマークとする。

12. スタート

- 12.1 スターティング・ラインは、スターティング・マーク(両端のRC艇)上で『オレンジ色』旗を掲揚しているポールまたはマストの間とする。
- 12.2 スタート信号から4分を経過した後にスタートしようとする艇はスタートしなかった艇(DNS)として記録される。これはRRS A4を変更している。
- 12.3 RRS 30.3(黒色旗規則)が適用されたレースのスタート後、ゼネラルリコール信号が発せられた場合またはレースが中止となった場合には、規則に違反した艇のセールナンバーをスターティング・ラインのスターボード・エンドに位置するRC艇に掲示する。

13. 次のコース・レグの変更

- 13.1 最終コースのレグに限りフィニッシング・ラインの位置を変更することがある。
- 13.2 フィニッシング・ラインの位置を変更する場合には、すべての艇が新しいレグを帆走し始める前に、3マーク付近に位置するRC艇に反復音響信号と共に『C』旗を掲揚し、フィニッシング・ラインのおおよそのコンパス方位を掲示する。但し、新しいレグの長さについては、変更されても「+」(延長)または「-」(短縮)の掲示はされない。これはRRS 33を変更している。
- 13.3 マーク3を回航する艇は、SI13.2の信号を発しているRC艇をスターボードに見て、同RC艇と3マークの間を通過しなければならない。

14. フィニッシュ

- 14.1 フィニッシング・ラインは、スターボード・エンドのRC艇の『オレンジ色』旗を掲揚しているポールまたはマストとポート・エンドのRC艇の『オレンジ色』旗を掲揚しているポールまたはマストの間とする。
- 14.2 フィニッシュラインはマーク2の風上約100メートルとする。但し位置の不正確さはRRS62.1(a)1による救済の根拠にはならない。

15. ペナルティー方式

- 15.1 RRS付則Pを適用する。
- 15.2 RRS44.1に基づきペナルティーを履行した艇またはリタイアした艇は、抗議締切時刻までにレース・オフィスにおいて報告書に記入しなければならない。
- 15.3 RRS42の違反(付則P)以外の違反については、ジュリーはレースを監視する。ジュリーが違反を目撃した場合にはジュリーは長音1声を発する。但し、セール番号の呼びかけはしない。これは「ジュリーが1艇または2艇以上の規則違反を目撃した。」ことを意味する。

16. タイムリミット

先頭艇がコースを帆走してフィニッシュ後15分以内にフィニッシュしない艇は「フィニッシュしなかった」(DNF)と記録される。これはRRS35およびA4を変更している。

17. 抗議および救済の要求

- 17.1 艇が海上において抗議する場合には、赤色旗の掲揚を必要とし、レース中は目立つように赤色旗を掲揚しなければならない。またフィニッシュ後、直ちに抗議の意志と被抗議艇のセール番号をRCが確認するまで口頭で伝えねばならない。これはRRS61.1(a)を変更している。
- 17.2 RCまたはプロテスト委員会による抗議の公示をRRS61.1(b)に基づき伝えるため掲示する。但しその文にある【レース後、規則61.3の抗議締切時刻までに、その艇に伝えなければならない。】を【レース後、規則61.3の抗議締切時刻までに、公式掲示板に掲示しなければならない。】に変更する。これはRRS61.1(b)を変更している。
- 17.3 抗議書はレース・オフィスで入手できる。抗議締切時刻までにレース・オフィスに提出されなければならない。
- 17.4 抗議締切時刻は、その日の最終レース終了から60分後とし、その時刻は公式掲示板に掲示される。
- 17.5 審問の当事者および証言者の氏名と審問開始時刻は、抗議締切時刻から30分以内に公式掲示板に

掲示する。

- 17.6 SI15.1 により、RRS42 の違反を認められた艇またはプロテスト委員会により失格とされた艇は、抗議締切時刻までに公式掲示板に掲示される。
- 17.7 大会最終日における審問再開要求の締切時刻は：
- (a) 再開を要求する当事者が、最終日の前日までに判決を通告された場合には、判決を通告された翌日の抗議締切時刻とし、再開を要求する当事者が最終日の前日に判決を知らされていた場合には最終日の抗議締切時刻とする。
- (b) 再開を要求する当事者が最終日に判決を知らされた場合には、その判決から30分後の時間とする。これはRRS66 を変更している。
- 17.8 SI115.2、19、21、23、24 及び 25 の違反は選手による抗議の理由にはならない。これはRRS60.1(a)を変更している。これらの違反に対してはプロテスト委員会が失格より軽いペナルティーを課すことが出来る。

18.得点方式

- 18.1 本大会は4レースの完了をもって成立とする。
- 18.2 得点の除外
- (a) 成立したレースが5レース以下の場合には、全レースの合計得点とする。
- (b) 成立したレースが6レース以上9レース以下の場合には、最も悪い得点を除外した合計得点とする。
- (c) 成立したレースが10レース以上の場合には、最も悪い得点と次に悪い得点を除外した合計得点とする。
- 18.3 SI19 の違反によりペナルティーを受けた艇の得点はDNFの得点より悪くなることはない。
- 18.4 SI19.2～19.6 のペナルティーの略語は、PFP (Penalty of Five Points)とする。

19.安全規定

- 19.1 レースをリタイアする選手は、その旨をRCに速やかに報告しなければならない。
- 19.2 海上では常に適切な救命胴衣(ライフジャケット)を着用しなければならない。ウェットスーツおよびドライスーツは適切な救命胴衣とは見なされない。もし、救命胴衣の浮力装置が膨張式のものであれば、海上では常に膨張させた状態で着用しなければならない。これはRRS40 を変更している。
- 19.3 選手は笛を救命胴衣にラニヤードで確実に取り付け置かねばならない。
- 19.4 艇にはブレードの面積が 0.025 m²以上のパドルをラニヤード又は弾性コードで確実に取り付け置かねばならない。
- 19.5 SI19.2～19.4 の規定およびクラス規則 3.3.4、4.2(a)・(b)、4.3(a)・(b)に違反した場合には選手の得点は、違反が認められたレースについて、ペナルティーとして5点加算される。
- 19.6 選手は、出艇前及び帰着後、レース・オフィス前に設置される申告用紙に出艇及び帰着のサインをしなければならない。この規定に違反した場合には、違反した日の全レースの得点について、ペナルティーとして5点加算される。
- 19.7 救助を必要とする選手は、笛を吹き、パドルまたは片腕を振って、知らせなければならない。RCは、救助を要すると判断した場合には、救助を必要とする選手の意向にかかわらず、救助することができる。これはRRS62.1(a)による救済の根拠にならない。

20.装備品の交換

- 20.1 損傷または紛失した装備品の交換はRCの書面による承認がなければ許可されない。交換の要請は最初の適当な機会にRCに行わなければならない。
- 20.2 損傷または紛失した装備品の交換が海上の場合には、損傷または紛失したことが海上のRCによって確認された後、許可される事がある。交換した装備品は、その日のレースの終了後にRCによる検査を受けた後、書面による承認を得なければならない。

21.計測および装備品の検査

- 21.1 艇または装備品は、クラス規則とSIにより、いつでも検査することがある。
- 21.2 各レース終了後、装備品と安全規定の検査を行うことがある。各レースで上位10位までにフィニッシュした艇は、RC計測艇がフィニッシング・ラインのスターボードに位置する場合には、その計測艇の処に直ちに行かなければならない。選手は検査が終了するまで、艇にどのような調整も行ってはならない。

22.オフィシャル・ポート

オフィシャル・ポートには以下の旗を掲揚する。但しこれらの旗の掲揚の誤りはRRS62.1(a)による救済の根拠にならない。
RC艇：『緑色』旗

スタート・ラインのスターボード・エンドに位置するRC艇：『神奈川県連』旗 + 『OPクラス』旗
RC計測艇：『Measurement』旗
プロテスト委員会艇：『JURY』旗
レスキューボート：『黄色』旗

23. サポート・ボート

- 23.1 サポート・ボートは海上では常時『ピンク色』旗を掲揚していなければならない。
- 23.2 サポート・ボートは次の条件を満たす場合にのみ使用が認められる。
 - (a) 参加申し込み時に申請用紙にてRCに使用を申請し、許可を受けること。申請、許可なき艇の出艇は認められず、乗艇者数を2名以上、定員の1/2以下と制限する。
レースの準備信号から最終艇がフィニッシュするまでの間は、添付2図「コース」に示すスターティング・エリアおよびレース・エリアに入ってはならない。但し、レースの延期または中止あるいはゼネラルリコールの信号が発せられた場合には、次の準備信号までは上記エリアに入ることが認められる。
 - (c) 全てのサポート・ボートに対する救助活動要請は、RC艇に『赤十字』旗を掲揚して通告する。この要請があった場合、サポート・ボートは救助活動のために添付2図「コース」に示すスターティング・エリアおよびレース・エリアに入ることができる。但し、サポート・ボートは、救助活動を除き、レース艇に援助を与えてはならない。
注. 援助はRRS41と同義語とする。
 - (d) サポート・ボートに乗艇及びエントリーされた艇をサポートするものは、グットマナーおよびスポーツマンシップにのっとった行動をしなくてはならない。
- 23.3 サポート・ボートに乗艇およびエントリーされた艇をサポートするものがS123.2(a)～(d)に違反した場合には、プロテスト委員会の判断により、そのサポート・ボートに関係する全選手の当該レースは失格となるか、または、その他の措置が取られることがある。

24. 無線通信及び計器の使用の制限

- 24.1 艇は、レース中無線通信を行ってはならない。またすべての艇が利用できない無線通信を受信してはならない。この制限は携帯電話にも適用する。
- 24.2 艇のGPS及びデジタルコンパスの使用を禁止する。

25. ゴミの海上投棄

艇は、海にゴミを投棄してはいけない。ゴミは、サポート・ボートまたはRC艇に預けることができる。

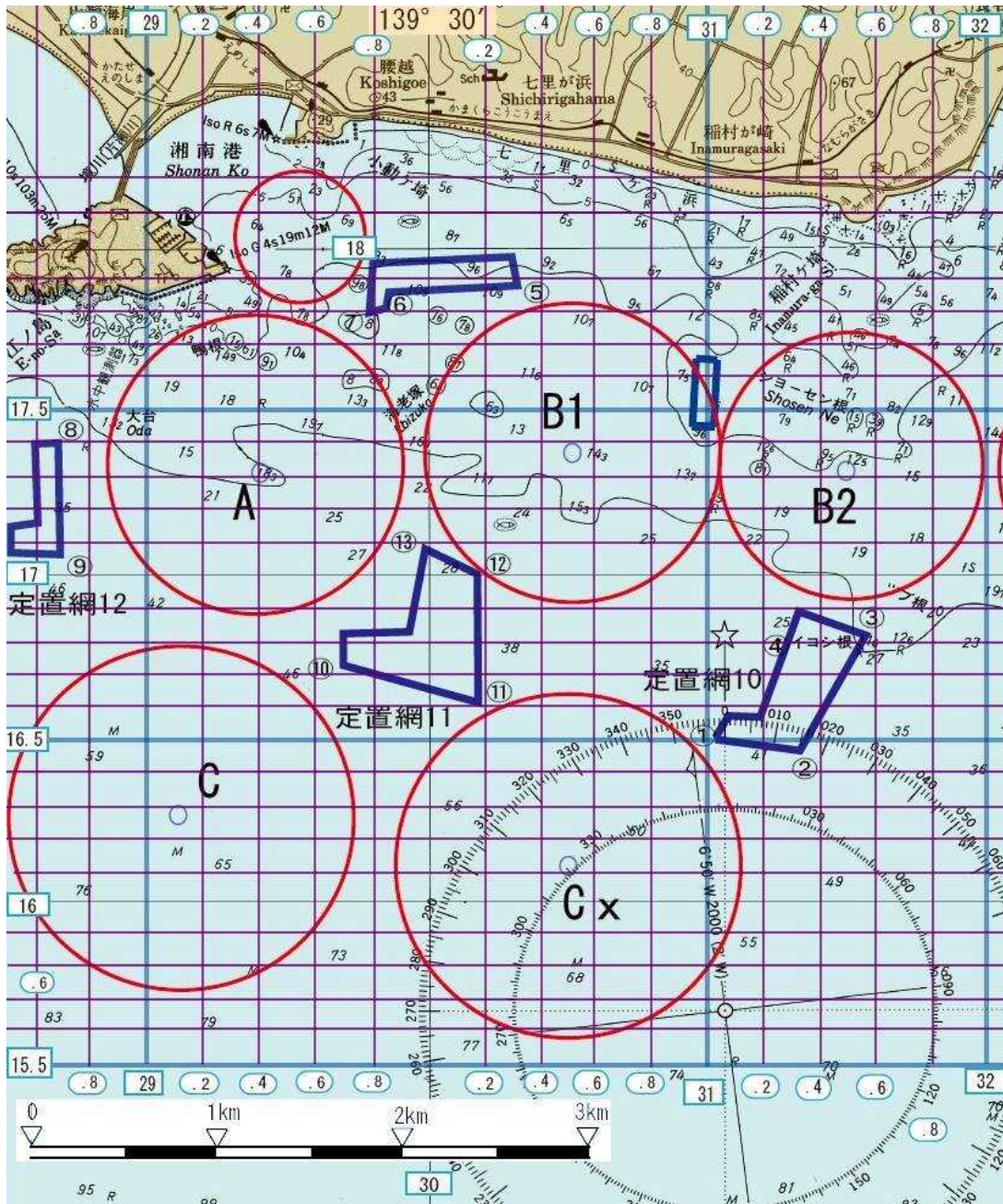
26. 責任の所在

本大会に参加する選手は自己の責任においてレースに参加するものとする。RRS4参照。
本大会の主催団体等は、本大会の前後および期間中に発生した人的事故(傷害・死亡等)ならびに物的事故(損傷・盗難等)について、その責任を一切負わないものとする。

以上

添付 1図 「レース・エリア」

添付 2図 「コース」



Area A Center: $139^{\circ} 29.4' 35''$ $35^{\circ} 17.3'$ Diameter: 1.6km



コースの形状:スタート 1 - 2 - 3 フィニッシュ
 角度はおおよそ60度。

RCはおおよそ45~55分を要するコースを設定する。実際のレース時間がそれより短い、または長いことは、救済申し立ての理由にならない。

Course configuration: Start-1-2-3-Finish.

Angles are approximate.

RC will set the course which will take approximately 45-55 minutes. An actual shorter or Longer racing time not be grounds for seeking redress.

